

令和5年1月17日（火曜日）

盛岡二高演劇部の「めぐる」の一場面



流転する日常、友情表現 盛岡の3高校「演劇チャレンジ」

もりげき八時の芝居小屋第179回公演「いわて高校演劇チャレンジ！リベンジ！」は、盛岡市松尾町の盛岡劇場タウンホールで開かれた。市内の3校が個性豊かなステージをつくりあげた。

盛岡二高演劇部の「めぐる」は、仮設水族館を舞台とした女子高生4人の日常と友情の物語。生物の組成の大半を占める水をモチーフに、巡りゆく命の姿が描かれた。

擬人化された神秘的なクラゲ、4人がクラゲになる白昼夢のような体験などを幻想的に表現。海や地震のエピソードを交え、水となって「大好きな人の所へ行きたい」というせりふが重く響いた。

盛岡南高芸術部放送・演劇班は「たぶん、銀河鉄道の夜」、盛岡一高演劇部は「みんなの美学」を上演した。

（岩手日報）

この記事は岩手日報社の許諾を得て転載しています。